



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

サンコー物産(株)は地球温暖化防止に取り組んでいます

サンコー未来★夢通信

感謝

全員で結果を創る
大樹の経営実践部隊

2009.10. 創刊号

<http://www.sankobussan.co.jp>

社長の思い

代表取締役社長
細川 康二



創業三五年で初めての社内・社外報の発刊にあたり、我が社の道標になればと思い、一筆啓上します。我が社が産声をあげたのは、昭和五十年の春です。現会長であり実父の細川三郎の思いが、我が社誕生のきっかけになったと、私は考えています。我が社は理念にもあるように、慈悲の心と感謝の気持ちを持ちつつ社会貢献できる人材育成を目指しております。根底には自律的に進化成長し続ける社員さん達の集団でありたいと言っているがあります。今回の「サンコー未来・夢通信」もその思いを形にしただけで、経営者としては理念に基づく人材育成のお手伝いが出ればと考えた発刊です。

サンコー物産の語源になった三つの光は、お客様、協力業者様、我が社の三つが共に光り輝く事が出来る為に我が社の社員さんが奮闘し、お役立ちを追及する事で達成出来ると思っていて、細川会長が名付けたと今では私なりに解釈しています。その細川会長の思いを理念に、社員さんと共に人間らしく働ける光り輝くオンリーワンメーカーを目指し、「サンコー未来・夢通信」を今から発展させればと考えています。今後とも変わらぬご愛顧・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3S活動について

大阪営業所・海老正紀



当社では、平成二十年一月十九日が3S活動のはじまりでした。この3S活動により最初、事務所では各個人の身の回りの片付け、いらない物の処分機などの配置換え、行動予定表などの設置などを行い、また倉庫内での作業においては、商品棚枠・床のペンキ塗りを社員全員で慣れない手つきでやっていました。慣れにくいうちにみんな手際がよくなり思っていたより綺麗に仕上がっていました。塗り終えた後は疲れの中に何かしら感動もありました。又商品棚の柵作りにより転落防止、よく出る商品・出にくい商品の場所変更によって取りやすくなり無駄な動きが少なくなり、中央の通路の確保、3Fの商品棚を単管で補強して空白部分の柵作りなどにより置くスペースの確保により良くなりました。まだまだ、当社は現在進行形ではじまったばかりですが、社員全員で協力しあっていき今より、より良い雰囲気をつくりだし良くしていければと思います。

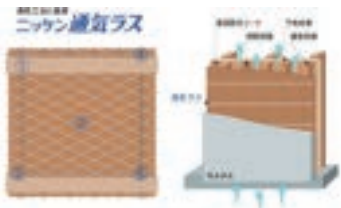
法律改正

住宅瑕疵担保履行法

株式会社ニッケンビルド
建築部材営業部
副部長 中野道生様

新築住宅は、平成十二年四月施行の住宅品質確保法によって、十年間の保障が事業者に義務付けられました。つまり、瑕疵(欠陥)が見つかった場合には、住宅事業者が、無料で直さなければなりません。ただし、その対象となるのは、住宅の構造耐力上主要な部分と、雨水の浸入を防止する部分です。

具体的には、柱や基礎、外壁や屋根などで、しかしながら、事業者が倒産してしまつとその保障を受けることができなくなりました。そこで消費者保護を徹底するためにできたのが住宅瑕疵担保履行法で、事業者は保険加入か供託金を積んでその保証資金を担保する事が義務付けられました。本年十月一日以降に引き渡される新築住宅が対象となります。今後は、材料品質、施工品質が益々重要となってきます。湿式外装下地としては、当社Wラス、ニッケン通気ラスを是非ご採用ください。



サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL: 06-6533-1271 FAX: 06-6543-0914

理念

未来を見つめて、慈悲の心と感謝の気持ちで働ける企業を目指します。
未来を見つめて、常に共存共栄の精神で社会に貢献する企業を目指します。



ジュニア・インターンシップ 研修生を受け入れて



代表取締役副社長
細川 真一

近年、フリーターや短期離職者の増加が大きな社会問題となつています。その要因の一つとして、若者たちの職業観・就業意識の希薄化、多様化が考えられます。

このような中で職業人として必要な基礎能力やキャリア形成力を養い、働く意欲を高めるための教育がますます重要になってきております。

我社では、去る七月十三日・十四日の二日間で今宮工科高等学校、八月十八日には淀川工科高等学校の生徒さんをそれぞれジュニア・インターンシップ研修生として受け入れました。

ジュニア・インターンシップは、高校生が在学中に事業所などで一定期間就業体験を行う教育システムです。

就業体験を通して社会や事業所の実情を知ることにより、仕事に対する興味や関心を高め自分の適性や適職を考える契機を与えることができます。

受入事業所にとっては、高校生に事業所・職場の実態を理解してもらうよい機会となり、社員は高校生と接することにより成長し、また受入職場の活性化にもつながっていきます。

我々サンコー物産株式会社は、ジュニア・インターンシップを通して、より多くの次代を担う人財創りに貢献してまいります。



今月の元気さん



H C 事業部 課長
木村 宗明

夏の強化販売で今月初めて個人一位を頂きました。この時期は強化商品の拡販を図る為に、様々な営業スタイルでチャレンジしてまいります。ひとつはチラシの活用とそれらを用いたFAX営業です。情報の共有でお客様と共に成長できればと考えています。

ここで大阪営業所の良きパートナー藤岡社員を紹介したいと思います。

藤岡さんは朝早く出勤して挨拶も大きな声でこちらが元気の活力を頂いたように感じます。仕事も段取りが良くスピーディーにこなされています。今回の一位になった要も彼の存在が大変大きく影響したことは間違いありません。とても感謝しております。『朝の挨拶は大切ななあ』というも思っています。彼の挨拶は私を清々しくしてくる朝のピタミン剤です。これからも宜しく願います。私も負けずに元気な挨拶をしてゆきます。

夢会の思い

京都営業所 辻 英俊



本年三月七日の第一回目から二十二回開催され、私もこれまで五回参加させて頂きました。同じ会社でありながら今までは他の営業所の動きや販売商品、仕入れ先の情報などがあまり入ってこない状況でした。

「情報の共有化」、「ベクトルを合わせる」の方針のもと、他部門の方々から違った視点でアドバイスを頂いたり、こういうやり方があるのかなど毎回色々な刺激を受けています。

時には外部から講師を招聘しての勉強会があったりと非常に有意義な一日を送っています。終了後はモチベーションが揚がってきて翌週からの営業活動を今以上に頑張ろうという気持ちになります。こうした機会を与えていただき感謝すると同時に業績を上げていくこととお返ししていきたいと思えます。

営業所便り

福岡営業所 今福さだ子



現在、杉、今福、高野の3人で頑張っています。杉所長は営業で九州各地、山口迄駆け廻り、今福は所内の事務全般を処理、高野は配達、入荷、発送業務を受持ち3人3様の担当を一生懸命やっています。福岡は建築、土木資材全般、特に型枠関係商品が主流をしめています。皆様から何でも揃う、参考物産(サンコー物産)、と呼ばれています。これからは皆様から気楽に声を掛けてもらい、立ち寄ってもらえる店創りをしていきますので宜しく願います。

追伸
十月度より川崎光隆さんが入社し4名体制で頑張っております。

(事務所は天神、博多駅、福岡空港(国際線)、歓楽街中州迄車で約10分位と非常に地の理のよい処にあります、ぜひ一度足をはこんでください)

編集後記

代表取締役副社長
細川 真一

政治も経済も今年は大きく変化してまいりました。この変革を求められる今、私達は創立35年を迎えます。今日まで支えて下さりました関係者の皆様に先ず感謝を申し上げます。

ありがとうございます。

本年度、我社では「変化から習慣へ」とのスロガンを掲げて、大幅な組織改革を行なっています。全てはお客様から「ありがとう」と言っていただけ、きめ細かいサービス提供を目指しての決断でございます。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

次にこの紙面は、年間4回の発行を計画しており、広くお客様からの御声を頂戴したいと考えておりますので、当社社員がお願いに参りましたら、その節は何卒宜しくお願い申し上げます。

次回の発行は新年号です。

私の提言

熱意にまさる才能はない、器用、不器用は二の次あなたの熱意が全てを変えます。

神戸営業所 和木健二